

水害編

地震と違って、水害は台風などの接近情報が事前にわかります。このため、避難の準備が大切です。

行政からの避難情報に注意し、避難の必要性が発生したら、ただちに行動してください。ぎりぎりまで、避難しないと、雨風は強くなり、避難できなくなってしまう。特に高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦、傷病者の方は、早めに避難することが大切です。

また、大規模水害が起こった場合は、2週間以上、水が引かないこともあります。街に留まっても生活はできません。

近くの学校に逃げても孤立する可能性があります。区外を含め浸水する恐れがない場所まで逃げるのが大切です。

万が一、逃げ遅れた場合は、高い建物に避難し、命を守りましょう。もし、水害が起こったら、どれくらいの深さになるのか、事前に知っておくことも大切です。

水害が起きると...

大規模水害 ~河川 堤防が決壊し長期間の浸水~



豪雨や台風が近づいたら...

豪雨や台風が近づき、洪水の危険性が高まると、区から「避難情報」が発令されます。避難情報が発令されたときの、自治町会の役割を確認しましょう。

詳しくはP.33, 34 

巨大な台風が近づいたら...

巨大な台風は暴風雨だけでなく、高潮も起こします。外洋では気圧が1hPa低くなると、海面は約1cm上昇するといわれています。豪雨や高潮により荒川・江戸川が同時に氾濫すると、葛飾区を含む広範囲の地域が水没してしまいます。浸水したまちに取り残されないために、自主的に早めの広域避難を行いましょう。

広域避難について詳しくは、P.41, 42 

浸水したまちに留まると...

電気、ガス、水道などが使

えなくなる恐れがあります。



集中豪雨などによる内水氾濫

河川洪水による浸水の危険性
中豪雨が降ると、下水道の処
雨水が溢れ出して街が浸水す

の低い地域でも、ゲリラ豪雨のような集
理能力をオーバーし、マンホール等から
る可能性があります。



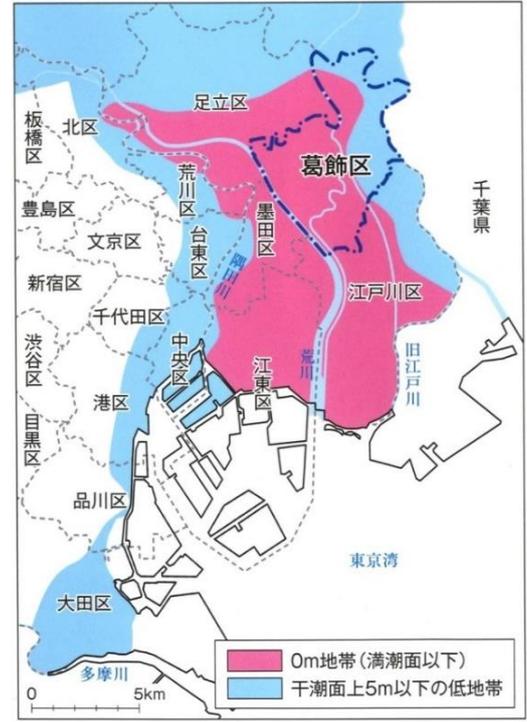
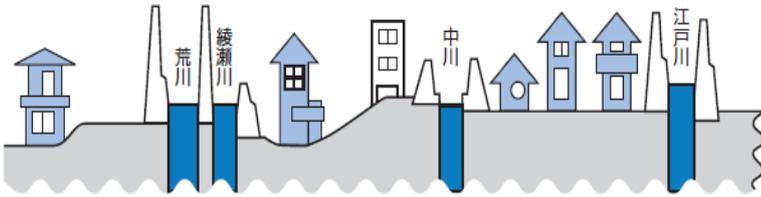
備えるために“まち”を知る

葛飾区の地形

葛飾区は荒川、中川、江戸川といった大きな河川に囲まれています。

また、高度経済成長期に大量の地下水を汲み上げたため地盤沈下が進み、区の半分近くが東京湾の海面より低いゼロメートル地帯となっています。

つまり、私たちは河川よりも低いところで生活しています。



▲東京の低地帯分布状況

洪水ハザードマップ

河川が氾濫した時に、どの地域が浸水するかが分かるように、葛飾区では荒川・江戸川・中川のハザードマップを作成しています。

ハザードマップは、複数箇所破堤した場合を想定しています。

必ずしもハザードマップどおりに浸水するとは限りません！

ハザードマップの入手場所

ハザードマップは区役所の危機管理課、および区内地区センターで配布しています。



浸水深とは

浸水深 0.5~1.0m

建物1階床上が浸水します。
0.5mで大人でも避難が困難になります。

浸水深 3.0m

建物2階床面が浸水します。

浸水深 5.0m

建物2階が水没します。
3階床面が浸水する可能性があります。



大規模水害に備える

緊急時の垂直避難

区は、緊急時に区民が避難できる場所として、区有の210施設を洪水緊急避難建物に指定しています。



洪水緊急避難建物がどこにあるか自治町会で共有しておきましょう！

また、これらの建物は命を守るための緊急的な避難スペースです！命を守ることはできても、孤立してしまうかもしれません。そうならないために、**早めの避難を心がけるように自治町会員に周知して下さい。**



自治町会は民間マンションと一時避難協定を結びましょう

自治町会は水害に備えて、民間マンションと水害時における一時避難協定を締結しましょう。締結の方法や協定の内容は、葛飾区「水害時における民間集合住宅との一時避難協定の締結に係るガイドライン」を参考にして下さい。

水害一時避難施設となった建物には、避難受入人数を上限として、区から備蓄物資が提供されます。協定を締結した場合は、区に連絡しましょう。

万が一逃げ遅れたら、民間マンション等の高い建物に避難しなければなりません。

そのため、マンションの住民と日頃から交流を深め、信頼関係を築きましょう。自治町会側からマンション等に対し、避難訓練・お祭りなど日常的なコミュニティ活動への参加を呼び掛けましょう。



簡易トイレ



アルミブランケット

(区の提供する備蓄物資)



大規模水害に備える

床下浸水に備えましょう

■排水をよくしておく

私道の側溝にたまった落ち葉などを取り除きましょう。作業が難しい要配慮者の敷地は自治町会で行いましょう。



■土のうと水のう

水害が起こりそうな時には、区役所が土のうを用意しますが、全ての区民に行き渡る量はありません。土のうの代わりにとなる水のうは、簡単に作ることができます。

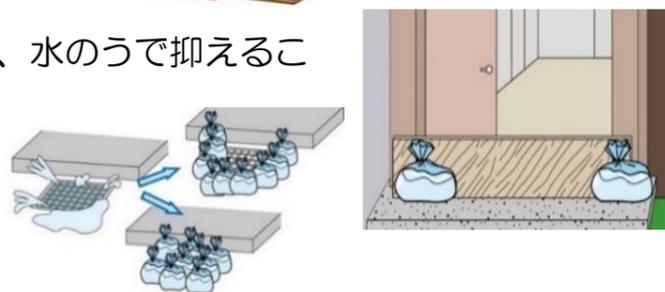
<水のうの作り方>

家庭用の大きいごみ袋を2～3重にして、その中にもち運べる程度の水を入れ、しっかり締めます。段ボールに入れると強度が増します。



出入り口を板などでふさぎ、水のうで抑えることで浸水を防ぎます。

また、排水溝の上に置いたり囲んだりすることで水のあふれを防ぎます。



水害に対する防災意識を高めましょう

町会員の水害に対する防災意識を高めるには、定期的に講習会や訓練を行うことも有効です。例えば、区ではハザードマップ説明会を実施していますので、ご自身の地域の水害について知っておきましょう。新小岩北地区連合町会では、ゴムボートを用いて救命ボート訓練を行っています。



ボート訓練の様子

自治町会員に情報収集方法を周知しましょう

防災行政無線

避難指示等を発令した際は、防災行政無線でサイレンを鳴らして区民にお知らせします。防災行政無線が聞こえたら、テレビ等で情報を収集しましょう。



かつらッパ

防災行政無線の放送内容が、音声と文字（テキスト）の両方で確認できます。



テレビ

NHK 総合チャンネルに合わせてリモコンのdボタンを押すと、データ放送画面が映り、区ごとの気象情報や河川の水位等を確認できます。

1 リモコンのdボタンを押す

十字キー

2 データ放送のトップ画面に移動したら、気象情報や河川の水位の情報など、見たい情報をリモコンの十字キーを操作して選択し、決定を押す

放送画面

出典：国土交通省 HP 内資料

携帯電話・スマートフォン

区から避難情報がメールで送られてきます。

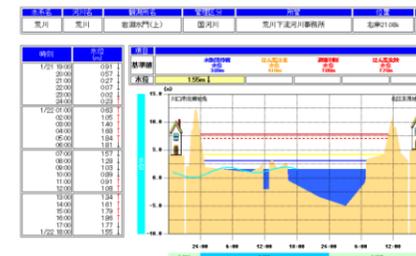
かつしかFM

葛飾区の災害情報等を発信します。
周波数 78.9MHz



インターネット

- 葛飾区ホームページ
詳しい避難情報を掲載します。
- 河川事務所のホームページ
観測所ごとに雨量と河川の水位をリアルタイムで見ることができます。
 - 荒川下流河川事務所
ライブ映像
 - 江戸川河川事務所
川の観測情報



荒川下流河川事務所 ホームページ 江戸川河川事務所 ホームページ

水害発生時の自治町会の役割

区は、河川が氾濫する恐れのある場合、遅くとも数時間前には全
たると、町会員に区の避難情報の内容を伝達して下さい。

区民に対し避難情報を出します。自治町会では、避難情報が行きわ



区から発令される避難情報

区は避難情報を発令した際、防災行政無線でサイレンを鳴らします。
サイレンを聞いたらテレビやかつしかFMなどで避難情報を収集して下さい。
自治町会長に対しては、地区センター経由で避難情報の連絡をします。
また、区の防災行政無線の放送内容は、「かつらッパ」において、音声と
文字（テキスト）の両方で確認できます。



これらの情報が出たら
避難情報に注意！

詳しい
情報収集方法は
P.32

テレビ等から収集する情報

河川の情報等

氾濫注意情報

河川の水位が、氾濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合に発表されます

氾濫警戒情報

河川の水位が、氾濫危険水位に到達しそうな場合や、避難判断水位に到達した場合に発表されます。

氾濫危険情報

河川の水位が、氾濫危険水位を超えたときなどに発表されます。河川がいつ氾濫してもおかしくない状況です。

氾濫発生情報

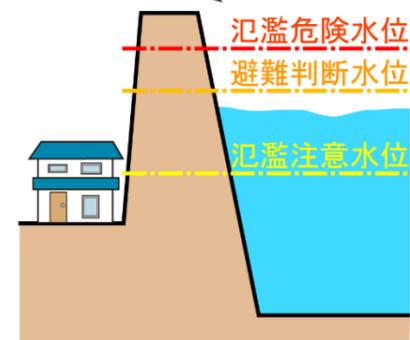
河川が既に氾濫している状況です。

気象警報等

※気象庁から発表されます

洪水 注意報	大雨 注意報
洪水 警報	大雨 警報
	大雨 特別警報

氾濫危険水位に達すると、越水だけでなく、浸食による堤防の決壊の危険性があります。



高齢者等避難

一般避難者は避難の準備

いつでも避難できる状態にして下さい。身の危険を感じたら自主避難して下さい。



要配慮者は避難を開始

避難に時間のかかる要配慮者は、避難を開始して下さい。暴風雨の中では要配慮者避難は困難です！

要配慮者の
避難を支援
して下さい



避難指示

危険な場所から全員避難しましょう。要配慮者は避難を完了して下さい。



冠水した道路はルや側溝のふた
いる可能性があ
傘等で確認しな
しましょう。

マンホー
が外れて
ります。
から移動



緊急安全確保

既に災害が発生しているか切迫した状況なので、直ちに命を守る行動を取ってください。

緊急度
↓
高

河川ごとの地域危険度 — 西部地域 —

対象区域

お花茶屋 小菅 青戸 白鳥 宝町 堀切 東堀切
立石 東立石 亀有 西亀有 四つ木 東四つ木



メモ 洪水が起こった時に想定される自分達の地区の浸水深を書き出してみよう

荒川が氾濫したら

m ~ m未満の区域

中川が氾濫したら

m ~ m未満の区域

江戸川が氾濫したら

m ~ m未満の区域

凡 例	
最大浸水深 (計画規模)	
■ (Red)	5m以上の区域
■ (Light Red)	3m以上 5m未満の区域
■ (Light Orange)	0.5m以上 3m未満の区域
■ (Yellow)	0.5m未満の区域

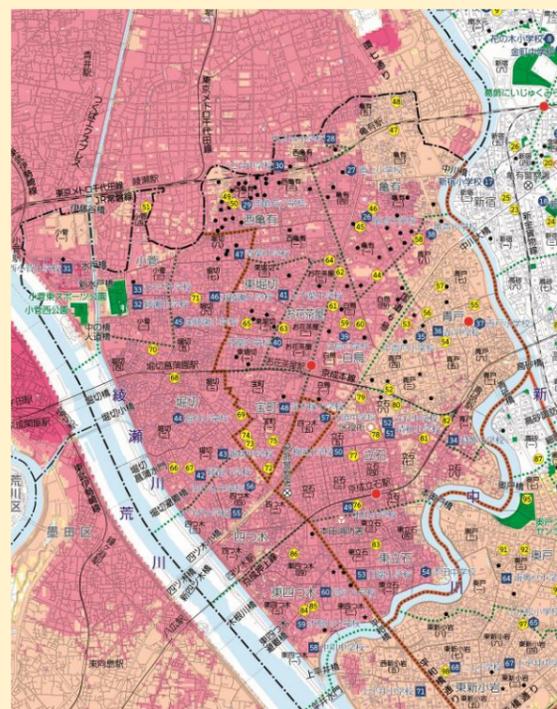
ヒント

ハザードマップを見てみましょう ※ハザードマップの入手先は P.29

荒川が氾濫したら

- 京成本線の橋梁部が周辺の堤防よりも低くなっているために注意が必要です。
- 浸水した場合は3m以上の浸水が、数週間続く恐れもあります。
- 令和3年9月に京成本線荒川橋梁の堤防にコンクリート製の壁（パラペット）が設置されました。

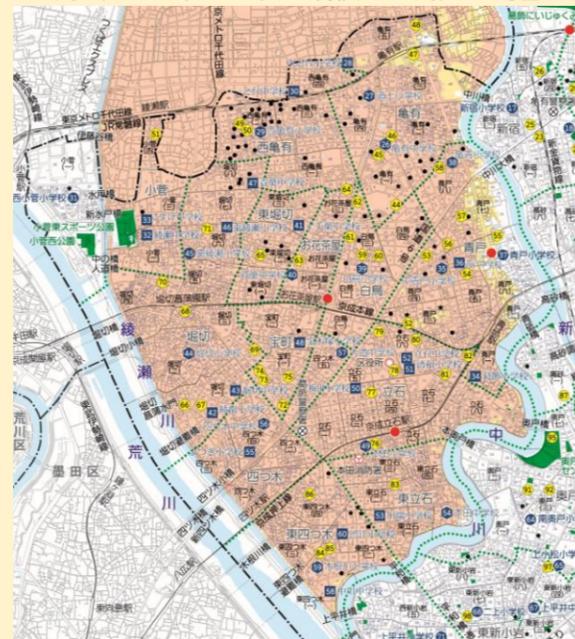
※荒川流域で3日間に総雨量 516mm の大雨 (200年に1度の規模の大雨) の場合



中川が氾濫したら

- 区内より上流部で氾濫する可能性が高く、浸水の恐れがあり注意が必要です。
- 中川の堤防は、十分な高さが整備されているため区内で氾濫する可能性は低くなっています。

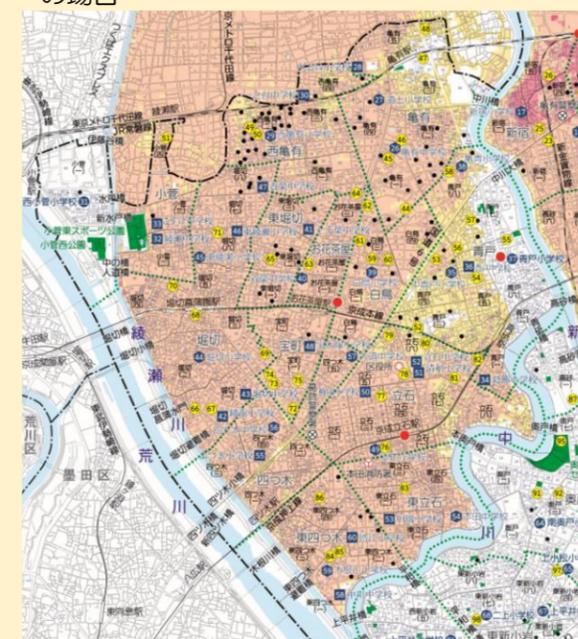
※中川・綾瀬川流域で2日間に総雨量 355mm の大雨 (100年に1度の規模の大雨) の場合



江戸川が氾濫したら

- 区内より上流部で氾濫する可能性が高いです。
- 区内で氾濫しても西部地域は浸水しない想定です。

※利根川流域、八斗島上流域で3日間に総雨量 336mm の大雨 (200年に1度の規模の大雨) の場合



内水氾濫が発生したら

- お花茶屋駅周辺から亀有方面にかけて0.5~1m未満の浸水が想定されます。

メモ 地区の中で特に深い浸水の恐れがある場所を書き出してみよう。

-
-
-
-

※内水氾濫とは、ゲリラ豪雨などの集中豪雨による浸水です。詳しくは P.27



河川ごとの地域危険度 — 東部地域 —

対象区域
 鎌倉 金町 高砂 (1丁目を除く) 細田 (1丁目を除く)
 柴又 新宿 水元 西水元 東金町 東水元 南水元



メモ 洪水が起こった時に想定される自分達の地区の浸水深を書き出してみよう

荒川が氾濫したら
 m ~ m未満の区域

中川が氾濫したら
 m ~ m未満の区域

江戸川が氾濫したら
 m ~ m未満の区域

凡例
 最大浸水深 (計画規模)

5m以上の区域
3m以上 5m未満の区域
0.5m以上 3m未満の区域
0.5m未満の区域

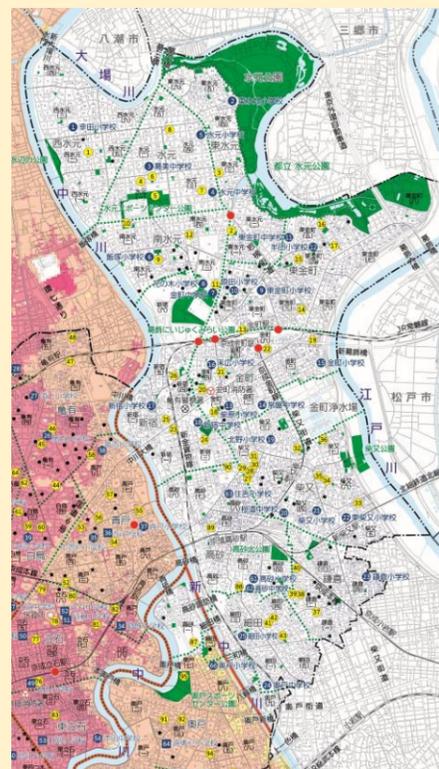
ヒント

ハザードマップを見てみましょう ※ハザードマップの入手先は P.29

荒川が氾濫したら

○中川の堤防によって荒川の氾濫水はせき止められ、東部地域は浸水しない想定です。

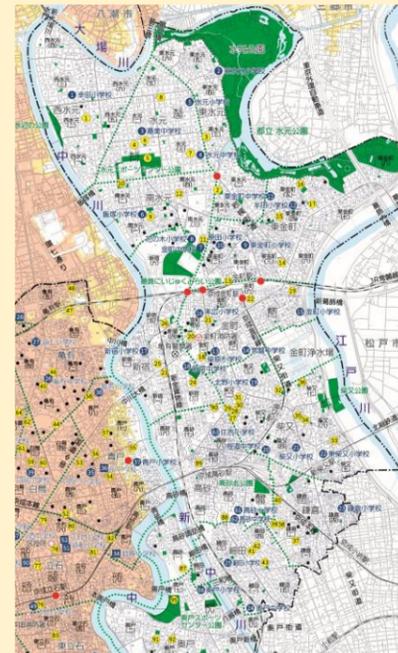
※荒川流域で3日間に総雨量 516mm の大雨 (200年に1度の規模の大雨) の場合



中川が氾濫したら

○区内より上流部で氾濫しても東部地域は浸水しない想定です。

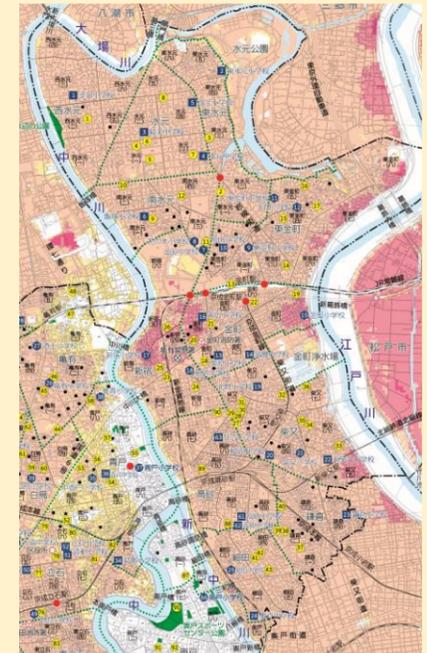
※中川・綾瀬川流域で2日間に総雨量 355mm の大雨 (100年に1度の規模の大雨) の場合



江戸川が氾濫したら

○上流で洪水が発生した場合、1日~3日後に浸水が区内に到達します。
 ○区内で氾濫すると東部地域は広い範囲で浸水します。

※利根川流域、八斗島上流域で3日間に総雨量 336mm の大雨 (200年に1度の規模の大雨) の場合



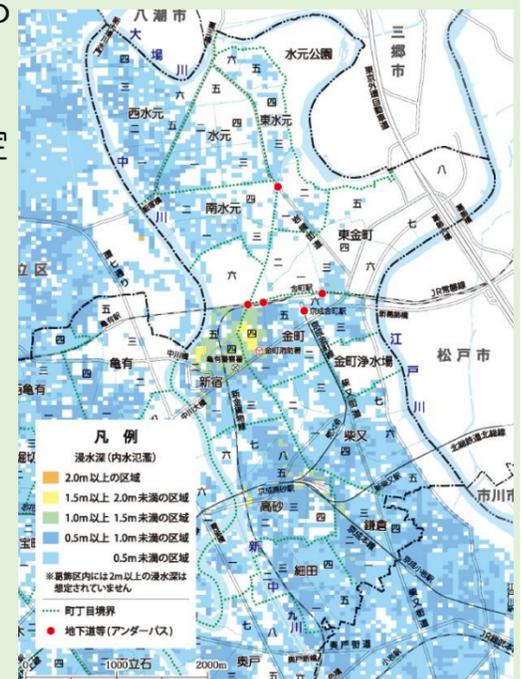
内水氾濫が発生したら

○新宿四丁目、五丁目、金町五丁目などで1~1.5m未満の浸水が想定されます。
 1.5m以上の浸水が想定される場所もあります。
 ○京成高砂駅周辺で0.5~1.0m未満の浸水が想定されます。

メモ 地区の中で特に深い浸水の恐れがある場所を書き出してみよう。

-
-
-
-

※内水氾濫とは、ゲリラ豪雨などの集中豪雨による浸水です。
 詳しくは P.27



河川ごとの地域危険度 — 南部地域 —

対象区域
 奥戸 高砂1丁目 細田1丁目
 新小岩 西新小岩 東新小岩



メモ 洪水が起こった時に想定される自分達の地区の浸水深を書き出してみましょう

荒川が氾濫したら
 m ~ m未満の区域

中川が氾濫したら
 m ~ m未満の区域

江戸川が氾濫したら
 m ~ m未満の区域

凡例
 最大浸水深(計画規模)

5m以上の区域
3m以上 5m未満の区域
0.5m以上 3m未満の区域
0.5m未満の区域

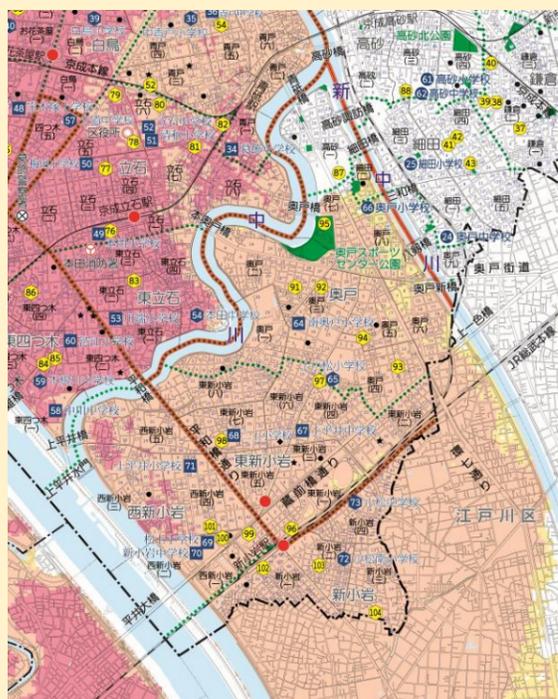
ヒント

ハザードマップを見てみましょう ※各ハザードマップの入手先は P.29

荒川が氾濫したら

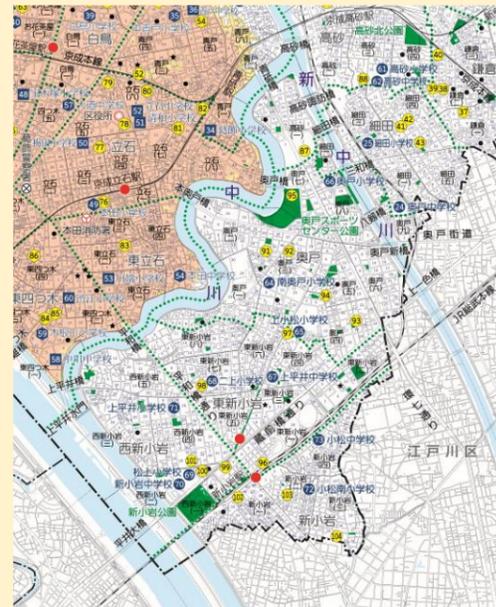
○区内でも破堤する恐れがありますが、京成本線橋梁部で氾濫しても南部地域は浸水しない想定です。
 ○浸水した場合は3m以上の浸水が、数週間続く恐れもあります。

※荒川流域で3日間に総雨量516mmの大雨(200年に1度の規模の大雨)の場合



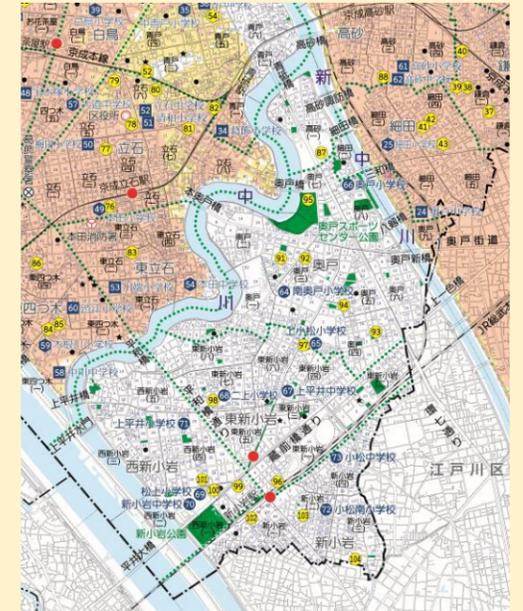
中川が氾濫したら

○浸水する可能性は低くなっています。
 ※中川・綾瀬川流域で2日間に総雨量355mmの大雨(100年に1度の規模の大雨)の場合



江戸川が氾濫したら

○浸水する可能性は低くなっています。
 ※利根川流域、八斗島上流域で3日間に総雨量336mmの大雨(200年に1度の規模の大雨)の場合



内水氾濫が発生したら

○奥戸二丁目、三丁目や、東新小岩四丁目などで0.5~1.0m未満の浸水が想定されます。

メモ 地区の中で特に深い浸水の恐れがある場所を書き出してみましょう。

-
-
-
-
-

※内水氾濫とは、ゲリラ豪雨などの集中豪雨による浸水です。
 詳しくは P.27



今までに経験したことがないような大規

模な水害が発生したら

広域避難指示の発令

今までに経験したことがないような巨大台風（中心気圧 930hPa 以下）が近づくななどにより、荒川と江戸川が氾濫するような大規模な水害の発生が想定される場合には、江東5区（墨田区、江東区、足立区、葛飾区、江戸川区）が共同で広域避難情報を発表します。

広域避難指示等の発令基準

氾濫発生まで	発令情報	避難行動
72 時間前	共同検討開始	72 時間後に猛烈な台風が接近する可能性があるとき、江東5区で共同検討が開始されます。
48 時間前		
24 時間前	自主的広域避難情報	要配慮者や、自主的に広域避難が可能な人は広域避難を開始して下さい。
9 時間前	広域避難指示	浸水想定区域内の全住民は広域避難して下さい。徒歩または電車で移動して下さい。
氾濫	域内垂直避難(緊急)	広域避難を中止し、浸水深より高い自宅の居室や最寄の高い施設へ避難して下さい。

広域避難とは

江東5区は、荒川や江戸川など多くの河川が流下する地域であり、河川洪水に対し高いリスクにさらされています。江東5区大規模水害ハザードマップでは、江東5区の浸水想定区域内の居住人口は **250万人** に及び、**2週間以上浸水** が継続すると予測されている地域も多くあります。そのため、浸水しない江東5区以外の地域に避難する「**広域避難**」が重要です。浸水の中に取り残されないために、自主的に早めの広域避難をしましょう。

避難行動の確認・避難先の確保

家族で話し合い、避難行動の確認をしましょう。浸水しない地域の親戚、友人、知人宅などに避難させてもらえないか事前に確認しましょう。

避難の方法

広域避難勧告が発令されたら、電車又は徒歩で避難するようにして下さい。

多くの人が一斉に自動車で避難すると、**渋滞が発生し、避難が間に合わない可能性があります。**

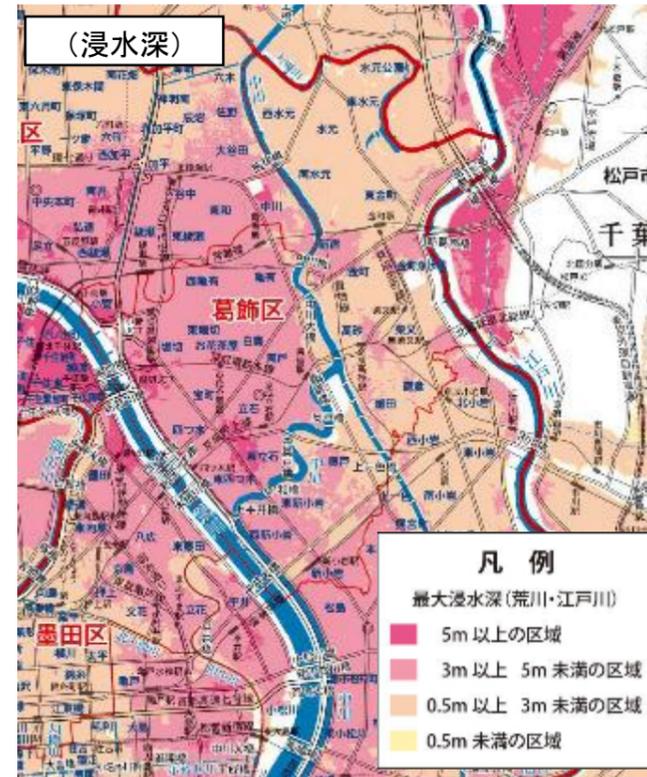
要配慮者及びその付添人は自動車での避難も可能です。



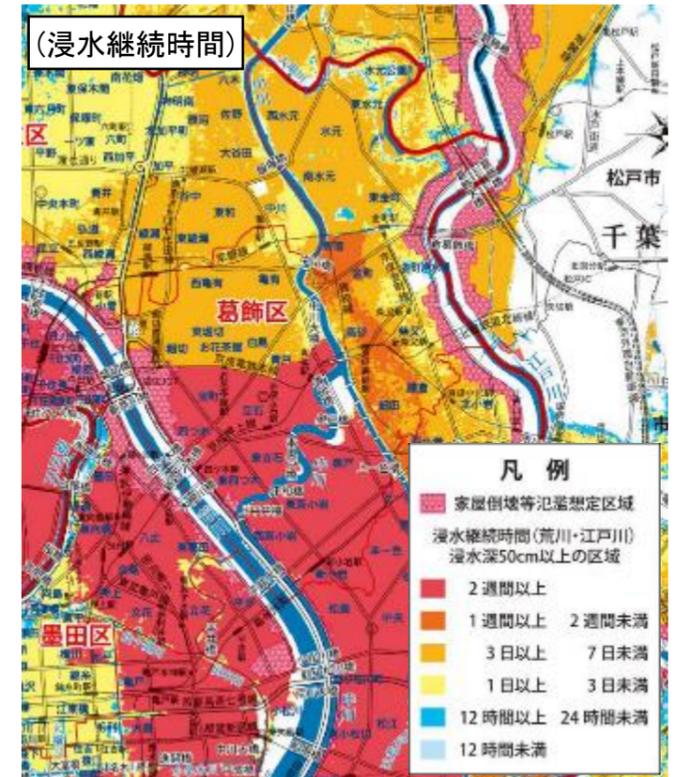
※ピンク色は浸水域・浸水深さを表しています。

江東5区大規模水害ハザードマップ

洪水浸水想定区域図



前提となる降雨（いずれも想定最大規模）
 荒川：荒川流域の3日間総雨量 632mm
 江戸川：利根川流域の3日間降雨量 491mm



高潮浸水想定区域図

※我が国既往最大規模の台風（室戸台風級：910hPa）を想定

